

3月19日(日)

習志野ダウン症児者親の会「あひるの会」
音楽で手をつなごうプロジェクト

音楽とスピーチで出演者と来場者が楽しいひとときを共有



千葉県習志野市にて、昨年に引き続き「習志野発！音楽で手をつなごうコンサート」を開催しました。ダウン症のある人たちの発表の場をつくり、多くの方々にその魅力ある人間性に触れてもらい、ダウン症を身近に感じてもらうことが目的です。

出演者、来場者ともに昨年を上回る人数で、よりパワーアップ。障害のある人たちの演奏では「元気をもらえた!」「素晴らしい演奏に感動した!」等のメッセージを来場者から頂きました。また、ダウン症のある弟をもつ兄と姉による心温まるスピーチや、ダウン症のある本人たち(小3と高2)による魅力溢れるスピーチでは、素晴らしいきょうだい愛や障害を前向きにとらえる姿が来場者にも伝わったことと思います。

最後には出演者と来場者の全員が参加して合唱やダンス。大いに盛り上がり、楽しいひとときを共有することができました。

【習志野ダウン症児者親の会 あひるの会
会長／音楽で手をつなごうプロジェクト
代表：小林 紳一】



「おつかれさま〜」終演後の出演者・親の会役員とご家族

3月20日(月・祝)

JDS 徳島県支部

天候に左右されないボウリングを楽しみながらの啓発活動



昨年に設立50周年を迎えた徳島県支部は、「世界ダウン症の日」前日の3月20日に、ダウン症理解のための啓発活動の一環としてボウリング大会を開催しました。

会場は徳島市の「スエヒロボウル」。徳島駅前周辺をパレードした昨年に引き続き、今年はお天気を気にせず気軽に参加できる行事を考えました。

当日は15家族・40名の参加があり、10レーンを借り切って各自2ゲームずつ投げるボウリング大会。啓発のためのプラカードには、今年のJDSのポスターも貼って、会場内でアピールしました。

福石理乃さんの始球式でスタート。50周年記念のTシャツを着て汗を流し、会員同士、家族同士が、楽しいひとときを過ごしました。

日頃からコツコツと練習を積んでいる会員にとっては、腕の見せ所。ストライクやスペアが出ると、ハイタッチで喜び合う姿が見られました。参加して下さった皆様、運営へのご協力をありがとうございました。

【徳島県支部：鈴木 あゆみ】



ボウリングを楽しみつつ啓発活動も——グッドアイデア!